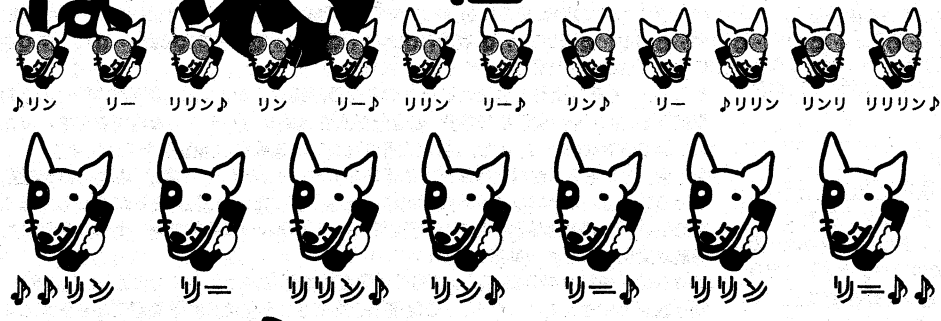


cocoroom社訓
1. 0から1を成すべし
1. それを、おもしろ、おかしく、たのしくするべし
1. 深く、ていねいに、息を吐くこと



GO!GO! 倫理



すべてのものには
2つの把手がついている

2つどころではないような気もするが
どんなにとっかかりのなさそうな
ツルツルのものにだって
把手はあるはずだ。

把手のひとつは、
倫理によって支えられているかな。
そう考えてから、一口ほうじ茶を飲む。
果たして「倫理」は
なにを指し示すことばなのだろう。
「倫理」に把手は2つついているかな。

子どものころ、川遊びの楽しみのひとつは
岩にのぼって川に飛び込むことだった。
岩によっては、突起も窪みも少ないものもある。
体重が軽かったせいもあるが、
指先はみるみる質感を変え、吸盤のようになり
手がかりのない岩に吸いつくようにして、
よじのぼることができた。
そのとき、ひなたと水のにおいのまじった岩は
何かをさしだしてくれたことを今も信じている。
「倫理」に指先を近づけてみる。

うた

この子に名前をつけなさいと
言われて 手渡された赤ん坊
生まれてまだ 数日しかたっていないようだった
おもわず窓を開けた
雑居ビルとマンションと風俗店の大きな看板と
高架の線路がみえる
ゆがむことなく スプーンで掬いとると
そのかたちで 液体の時間がながれこみ
平静をよそおう表面を
ガムテープでとめた車の窓から
売春婦が支度をしているのがみえた
その車が彼女の仕事場で、彼女は
身なりの貧しい男たちに五百円で射精させる
「あんた三百円しかないって！」
あたしは そんな安い女やないよ！」
ラジオがきれぎれに受信するのは そんな女や
百円硬貨を三枚しか持たない男の声だ
夜の月は男の握りしめた硬貨のぬくまににじむ
三角公園端の教会から 賛美歌はきこえない
テレビの音量と
煙草の煙でいっぱいになった部屋には
何百人もの労働者たちが 黙って座っていた
教会の一階「相談室」と書かれた扉には
ひらがなの名前が三十枚ほど貼られている
折っても折っても
なかなか名前を呼ばれないのだ

新今宮駅でスーパリー玉出の袋に入って
捨てられた子どもの名前を 相談したかった
人生に名づけられる名前は光だから
自分の線路のために枕木を毎日並べてゆく
雨の日も風の日も 口笛をふいて
ひなたの光に
目をほそめてばかりいられるわけもなく
冷たい日暮れに
あきらめなくなるけど
あきらめない勇気のうたを
自分のうたをうたいつつけられるような名前を

スリランカからの手紙

PPPCBN 世界と新世界博

4月29日(金) 17:30開場 18:00開演

200円 (1ドリンク/ THE BIG ISSUE最新号つき)

●お問い合わせ ココルーム ※新世界フェスティバルゲート4階
tel. 06-6636-1612 06-6636-1662

●大阪版の芝居劇場実行委員会 協力 NPO法人かまなび、ココルーム

READING THE BIG ISSUE

リーディング・ビッグイシュー シリーズ第3弾!

- 紙芝居「おむすびこるりん」 かまなびこえん
- THE BIG ISSUE 販売員のお話「自立と仕事」
- 電話朗読「空色のカサ」 作：遠岡理 朗読：ウラン・ジクスー
- 「スリランカからの手紙」 上田優奈代
- 「マニラの職業訓練校事業立ち上げとフィリピンアートの状況」 佐藤晶

大和川レコード音記録作品集

『選び採取られた日常』

エラピト、ラレタニチジョウ

05年6月1日 全国レコード店リリース

発売元 Mixed Media トカ軸 ※注：文番号 TOKA-001

2,100円(税込)

「唄をウタウ」から「唄をミセル」への変換
日常にある風景を再編集し
「サウンドビジョン」という概念を追求した
GD作品集

特集 倫理

国家公務員、生命、情報、通信・放送・新聞、メディア、企業、図書館、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、国際、技術、政治、医療、経営など。これらの言葉は尾に「倫理」がつく。どうやら各都道府県にも「倫理法人会」があるらしい。普段あんまり使わない「倫理」という言葉は、行動規範を担っているものだろう、というのは想像できた。どんな感じで「倫理」は、わたしたちと繋がっているのだろう。みんなは「倫理」をどんな風に考えているんだろう。「倫理」をさくろつと特集を組み、原稿を依頼した。即決で何人かに断られたことから、あんまり触れたくない話題だったことが窺える。引き受けてくださった執筆者に感謝します。

アーツを伝える立場から? 「未知」と「無知」のはざま

小暮宣雄(芸術環境研究者)

アーツレビューとは、赤面の連続である。自分の鑑賞能力の不足、至らなさを発見する日々といえる。それは、たまにレビューされた本人からの指摘としてあるが、ほとんど、過去の自分のレビューを読んで自分が思い至るものである。特にそのアーティストの作品にいま接して、前には気づけなかったこと、過去の評価間違いに気づくとき、赤面度合いは亢進する。できることは、過去を取り消すことではなく、いま、ちゃんとしたレビューを綴ることであると心を込めて書くのみである。

防備録として、タイトルや作者、演出家、振付家、作曲家、出演者を書くのだが、それについて、私を主語として何かを言えば、それは毀誉褒貶になる。応援したいので、まだここを改良したらいいというつもりで書いても、書かれたほうはまずそれは読めないというものは、十分に察知できる。ただ、固有名詞を出して発表をされているので、それを明らかにして、そのあり方を述べるのは、ある意味、誠実な態度とはいえる。

退屈した鑑賞体験を書き出すと、どうしても口幅つたい言い方になり、文章は短くなる。私はほとんどの芸術遭遇について、何らかのメモを残しているが、あまりにもひどいと思ったものについて、何も書かなかったこともある。もちろん、言葉に出来るものと、言葉を超えるものがあり、絶句したまま、書けないこともある。そういう場合は、よくないものとすくすくするものは、同じようになってしまう。「よくない」と思って書かなかったものが、すくすくして自分には「よくない」としか思えなかったという場合もあった。だから、もう、自分の能力の限界だと悟るしかない。そして、不快に思われても、それが、不純な動機でないことが自分で明らかである限り、ただ覚悟してレビューを続けようと思っている(今までのようにレビューが最優先に出来るかどうか、これからの私のアーツ倫理危機管理の最大のテーマになるだろう)。

「伝える」立場としては、アーツマネージャーもレビュー対象としてその重要な役目を果たしている。お稽古の発表など身内のみで催しでない限りは、名前を出してレビューされるのは、覚悟しているものと思っていた。ところが、数年前、まちを使った大きな美術イベントをマネジメントした人の話を聞く機会があった。その人の説明がひどく稚拙で、はなはだしく自己中心的なものだったので、名前を挙げて指摘するとともに、このような一過的なイベントはまちとアーツの関係において、何をもちたすというのだろうかと書いた。

すると、代理人を通じて、名誉毀損で訴えると抗議の電話やメールが幾度とあり、私が勤めている大学や非常勤で行っている大学にまで及んだ。

仕方なく(アーツマネジメント自体が未熟でそういう人が出てしまうのだから、責任はこちらにもあるともいえるので)、「こぐれ日録」内の所要箇所を削除することにした。さて、この過去のアーツイベントレビューについて、私が赤面するような新たな事態が起きるのだろうか。何がどう変わるかは未だに分からない。

いづれにせよ、そのような「未知」と「無知」のはざま、今日もまたアーツレビューをするために、仕事を減らし(家族の犠牲は極力でないようにつとめて)、心身の準備をするのである。

紙切れに宿る「倫理」の二文字

泉谷洋平(地理学者)

方々で地域通貨の運動に関わってもう5年以上になる。そもそも地域通貨というのは、地域限定で流通する(多くの場合)利息の無い通貨のことである。その地域通貨は時々「倫理的なお金」と表現されることがあるが、なぜだろうか。ただの紙切れに適当な数字を書いて、それを何かと交換してもらい、受け取られる保証はない。既存の価値観や理屈はそこでは意味を持たない。むしろ、既存の理屈や価値観では理解できない営みがあるということの方こそが、およそ価値観や理屈といったものが成立することを可能にする。倫理的、というのは単に「善い」ということではない。むしろ、善い悪いの判断基準それ自体が成立する生の現場の緊張感に関わる概念であると思う。ただの紙切れを担保に財やサービスを交換するその瞬間にも、そんな緊張感はさざやかながら宿っていたりする。

地域通貨が倫理的であるのはそれが何か「善良」な目的をもったものだからではない。むしろ、そういう「善良」という価値観を常に相対化させるからこそ倫理的なのだ、と私は考えている。

倫理考察 050409現在

阿佐田亘(アーティスト)

倫理とは何かと言われても今の自分には答えを持ち合わせていないことに気づく。自分の中に、倫理といわれるものが存在していても、それを言い表す言葉が思い当たらない。わからないから、まずは広辞苑やインターネットで、意味を調べる。ある倫理学のホームページにたどり着き、そこに書かれてある文を読む。「道徳と倫理の違いとは、単純明快、強制と自由との違いである。道徳とは外的規範によって強制できるが、倫理は内的自由によってしか欲求されない」と書かれていた。

そうか。そもそも道徳と倫理というものも違う定義なのかと知る。倫理が内的自由な規範であるなら、その倫理の枠組みも、自分が人生経験を重ねてゆく過程でおのずと変化してゆくのではないかと考える。また人々各々持っている倫理は当然違うことになる。

そう考えていると、「倫理とは価値観に近いものなのか」と思い、今度は「倫理」と「価値観」ということばを調べる。ある社会学のホームページにたどり着き、そこに書かれてある文を読む。「倫理と価値観の関係は、価値観というのがより基本的に持つもの。倫理観は、価値を実現するための体系」と書かれていた。

それらの意味調べをした後、「まず自分の価値観は揺らぎないものなのか」と自問する。価値観が形成されているなら、その価値観を実現させるための行動原理である倫理もおのずと見えてくるはずだと思い、「自分の価値観ってひとことであらう」と考える。この問いの連鎖は何処まで続くのだろうか。

あやまり人生

飯島秀司(コクルームスタッフ)

今を去る3年前、出会ったばかりの上田假奈代と居酒屋にいった際、「わたしには道徳はあっても倫理はない」と断言していたのを思い出す。それが今回のぼえ式通信でのお題が「倫理」とは。時の流れを感じるなあ。

ものごころついた時から、わたしはあやまってばかりいる。あやまり人生かもしれない。かつて親しくしていた何人かの人から「あなたは簡単に謝るけど、心から謝ってないのよ!」と怒られた。ごめんない。ああホントごめんよ。

cocoroomの運営をはじめてもうすぐ2年になる。運営中、何度か冷や汗を流すような場面もあったように記憶している。かつて「倫理はない」と断言していた上田假奈代が責任者として、明確な倫理感とともに判断し、行動してきた過程をわたしは近くで見えてきた。かつて「飯島は何故cocoroomの活動をするのか」と問われ「俺は良い音楽をつくりたいだけや」と答えた際、「手段と目的を混同しては、ここでは通用しない」とたしなめられたことも。(今となっては、「いや全くその通り」と首をうなだれている) いわゆる「職人的な思考」では切り開いていくことの出来ない地帯があるのだろう。

そして現実との刷りあわせ/バランス感。倫理はそのバランス感を貫く軸のようなものかしら。

さて、わたしは何故あやまってばかりいるのか。それは、わたしが時おり「過剰に調整的」になってしまい、わたしの中の軸、というか「倫理感」が若干のふらつきを見せるためであらう。(単なるマゾ體質との声も)えー。はい。はい。ちゃんとします。です。はい。

舞台が創る倫理。 餘吾彦雄(recip理事remo理事 大阪紙の芝居劇場実行委員)

倫理を調べてみた所、「人として守るべき道。道徳。モラル。」または、「人のふみおこなわなければならない道。道徳」とあった。じゃ、道徳は? 「人の守りおこなわなければならない道。人生上の考えや行為の標準。」または、「ある社会で、人々がそれによって善悪・正邪を判断し、正しく行為するための規範の総体。法律と違い外的強制力としてではなく、個々人の内面的原理として働くものをいい、また宗教と異なって超越者との関係ではなく人間相互の関係を規定するもの。」とあった。

学生時代や社会に出ている人な人に会ったり本読んだりしながら、いろいろ得た事に自分なりの尺度で接していくうちに、現在の仕事を選んだ。

というより仕事じゃなくて、仕事の方法かな、と。表現という行為、たとえば舞台芸術に繰り広げられる行為は、公共の場所ではおこなっては行けないだろう行為をわざわざ舞台上に乗せる。それを観客は知る。

そこでまた、いろいろ自分の尺度が出来る。たまに、押しつけがましい芝居とか、美しい事を連発するアーティストとか、楽しいだけを提供する劇団とかいるけれど、結局、何も持ったり嫌れたり、する。今、残念なのは、そのような一方通行が多過ぎたのだから。

表現という世界は千差万別で、いろいろあっていいと思う。今までは一方通行のメディアしか無かったのだから、またwebのような多種多様になると選択が難しい。伝える側が伝えたい側は何を、どうやって伝えたいのか、を言葉も表現方法も選ばない

と受け取る側も混乱しちゃうし、違った方向に取られちゃう事もある。ほとほと大変なんだけれど、多分どの世界にいても同じなんだろうな、とも思う。

伝える側にとっての意図があって、普段考えないような事とか、しゃべれない事(もちろん芝居なんだけど)を生で提供する事で、いろんな価値観を相互に考える場がもっと増えてもいいと、思う。

cocoroomがますます使いやすくなって

劇団パック「CO屋」

co屋5日間パック(木金土日)15万円

co屋4日間パック(木金土日・金土日)13万円

co屋3日間パック(金土日)10万円

co屋2日間パック(土日)8万円

1日利用の場合:5万円/1日(夕方17:00からの使用は3万円)

info:コクルーム tel.06-6636-1612, tel&fax06-6636-1662 cocoroom@kanayo-net.com 担当:飯島、阿佐田、上田

ステージ数問わず一律料金 使用時間10:00~22:30* 仕込・ばらし含む* 月曜は18:00まで* 機材管理料含む(音響スタッフはつきません)* 稽古使用は3万円* その他の曜日でも* お客様には入場の際1ドリンク(500円)別途必要* 情宣協力いたします!

●キャバ椅子席:60 ●舞台スペース6×6m ●音響システム完備 ●照明:調光3系統(店舗用) ●定める使用規定にもとづいてください。くわしくはコクルームまでお問い合わせください。

たとえばこの文字を見ているのはあなたの目だ。今私は「この文字」と書いたが、上の一文の意味があなたに思われた時には、あなたの目が見ていたのはもう「この文字」ではなかった。「この文字」を見続けていたら、おそらく意味さえ失ったインクの染みとして現われていただろう。意味はこの文字には無い。文字の連なりが仮に流れの中にある。今あなたの行っている事は目だけではない。目と紙面の距離を適当に保つ手も必要だ。たとえあなたに手が欠けていても、机の上に置く等、手に代わる配慮があるだろう。

こんな事をクドクド考えるのは、この文章を誰が読むのかとても気にしているからだ。私自身は今のところ目も手も器官としては害われていないのだが、読者にもそれを当然のごととして良いのか?日本語を解さない者に対してはどうするか?しかし、そもそもこの文字の連なりを言葉として受け止めて、意味を思いうる方々を除けば、私は無ではないか。イエスが言っている。「耳のある者は聴きなさい。」声に出して言ったのだから、器官としては耳の害われていない人々に向けてである。キリスト教も教会も好きではないが、こんなかっこいい言い方を沢山遺したイエスは好きだ。私も做おう。

「目のある者は読みなさい。」
目のあるあなたを更に想ってみよう。男である事に疑問を抱いた事もない男であるか女である事を武器に生きる女であるか戸籍上の性に違和感を覚えた事もあるか超えたいかも超えているか、大ぶった子供であるか子供っぽい大人であるかどっから見ても大人であるか、働くということに(中略)する者であり、そして生きている。何故わざわざ「生きている」と添えたのかというと、一つは慰霊の碑文のように死者に読ませる文章というものがあるからだ。もう一つは、今回の主題「倫理」で、これは教科書的に言うなら「どのように生きるべきか」だ。私も今のところ生者で、同じ問を抱えている。又、書家であり言葉による表現を使命としている。私はあなたに「倫理とは」に続ける何かを持つか?持たない。表現者が世に在るのは人々の感じ方を広げる限りで、「べきだ」を説くのは他の在り方だ。じゃあこの文章は何だったのかというと、私なりに倫理的に読者に対してみたかったのだ。それをよしとするか否かは、神、この紙面の出資者、そしてあなたに委ねられている。今私は三波春夫の「お客様は神様です。」という言葉の意味を噛み締めている。

倫理について。

藤川直也(京都大学大学院文学研究科哲学専修博士課程)

「大切にしなければならぬのは、ただ生きるだけごとではなく、よく生きることだ。」
そう語るソクラテスが、裁判での死刑宣告に従って、自ら進んで毒杯を飲み干したとき、よく生きるとはどういうことか?という問いに一つの解答が与えられた。それによれば、たとえそれを守ることによって自身が多大な不利益を被るとしても、守るべき生き方の規範が存在するのであり、よく生きるとはそのような規範に従って生きること他にない。

さて、この解答に託されたメッセージは、人にとってよいことは、必ずしもその人にとって利益となるわけではない、ということだろう。つまり、よさと利益とは別ものだ、というわけだ。よさと利益の乖離の極端な事例の一つは、ソクラテス自身が体現した殉教だが、そのような極端な事例に目を向けなくとも、その乖離の事例は我々の身近に転がっているように思われる。資産を増やすことは利益だが、他人のものを盗むことは悪いことである。立って電車に乗ったために疲れるということは不利益だが、お年寄りに席を譲ることはよいことである、等々。

だがそんな乖離など本当に存在するのだろうか。立っていることは疲れるかもしれないが、人に親切にすることによって人にある種の満足感を得たり、あるいは周囲の人から高い評価を受けたりするのであって、それは結局よい行いをした人にとっての利益となるのではないか。実のところ、よさは利益を得るための極めて有効な一つの手段なのではないか。確かに、多くの場合我々は道徳的であることによって、不道徳であるよりも多くの利益を得ることになる、ということは事実のように思われる。

我々はここで、よい行いと結局自分の利益になる行いなのであって、一切の利益と切り離しうようよささというものは存在しない、と言い切ってしまうことになる。だが、問題はそんなに簡単ではない。電車で席を譲る人が評価されるのは、その行いが自己犠牲的であるからに他ならないだろう。つまり、よさは、それがたとえ不利益を伴うとしても維持すべきものであるが故に、利益を獲得するための手段として有効に得ているように思われるのだ。非力なものが力を得るための道具としてのよさは、自身の非力に訴えることなしには、その役割を果たすことができない。

で、何が言いたかったかと言うと、よさは利益を得るための手段として有用なんでしょうけど、よさのもつこの奇妙なねじれっぷりが僕にはなんとも卑屈に感じるので、よさに訴えて生きようなどとはあんまりしたくないや、ということです。
本文中に倫理ってことばがでてきてないなあ。いいのかなあ。まあいいや。

倫理リレー

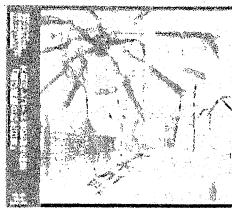
上田假奈代(詩人)

「自立」っていうのは、「その人の倫理のバランス」に支えられているんじゃないか。そんな仮説をたててみた。
表向きに身分制を破壊し、戦争を経験し、高度経済成長もバブルも経た民主主義と資本主義の国の底辺に、倫理は複雑な寝相で夢をみている。
倫理が2つあることを知ったのは、つい最近のことだ。
自分にとって身近な倫理と遠い倫理があり、2つは相反する。ひとつは生活の場での個人の倫理で、もうひとつはある枠組みを統治する倫理と、定義しておく。
わたしたちはすべての取引のときに、この2つの倫理のどちらかを用いている。
そのとき、立場と、その立場で用いるべき倫理を間違ってしまうと、混乱が起き、物事が入り組み、考えることをあきらめてしまうのだ。
いずれにせよ、その倫理のもとに生きているわたしたちがいる。
こんな場所にこんな時代に生まれたことを後悔してもはじまらない。
どうせなら、死ぬまで、自分の持ち場で最善を尽くし、自分を活かしていく倫理を持った方が人生はおもしろい。倫理は態度にあらわれ、ことばになっていく。それは積み重なり他者へさしだされ、未来へつなげていく。

日常再編集

阿佐田亘(a.k.a.大和川レコード)

大和川レコード音記録作品集『選び採取された日常(エラビトラレタニチジョウ)』
05年6月1日 全国レコード店リリース!!
「唄をウタウ」から「唄をミセル」への変換 日常にある風景を再編集し
「サウンドビジョン」という概念を追求した意欲作です。



大和川レコード音記録作品集
『選び採取された日常』
2,100yen (tax in)
(mixed media トカ軸)

- 1.「飛びかけた鳥はただ赤い空へ 前篇」(2002):13分38秒収録
トロンボーン:米子匡司(from SamuraiJazz / 越後屋 / otosora)
歌、会話「飛びかけた鳥は～ジムノベディン」×タナカセイコ
会話「飛びかけた鳥はただ赤い空へ」撮影中×宮本典明
- 2.「飛びかけた鳥はただ赤い空へ 後篇」(2002):4分14秒収録
ピアノ、歌:齊藤未央
会話「飛びかけた鳥はただ赤い空へ」撮影中×林勇気
- 3.「寂れた線路を独りで歩く」(2002):20分52秒収録
美術、ナレーション:津田修
対談「ひとりて表現すること」
×池永正二(a.k.a.あらかじめ決められた恋人たちへ)
- 4.「カルテラ」(2001):21分07秒収録
対談「ひとりて表現すること」×Kalna Katsukom
歌、会話「カルテラ女性バージョン」×min(ハシモトカオリ)
トロンボーン:米子匡司(from SamuraiJazz / 越後屋 / otosora)

今回のコラムでは、ひとつ宣伝をさせていただきます。
この度、6月1日に、約2年前から半年かけて録音、編集したCD作品集を、リリースすることとなりました。大阪～京都のあらゆる場所で弾き語りをしたり、人と会話したり、散歩したり。それらのフィールドレコーディングをコラージュし、再編集したものが、今回リリースする作品、大和川レコード音記録作品集『選び採取された日常(エラビトラレタニチジョウ)』です。1曲の唄が生まれるまでの過程、日常。唄にまつわる想い、想い出、想い入れ。全てを込めて。この作品を聴くと同時に、そこから立ち上ってくるスケープを体感してもらえたら幸いです。
※大和川レコードの公演予定はスケジュール欄参考

阿佐田亘(アサダワタル)・・・
アーティスト。大和川レコード名義で活動。主として音楽の提示の在り方に焦点をあてたライブ/インストレーション作品を様々な領域で発表。
NPO法人cocoroomコーディネーター。http://www.geocities.jp/endeavor0203/

PRICK UP YOUR EARS CHIMES cocoroom booking exhibition 阿佐田亘

■05/02/21～05/03/06 西脇一弘 ドローイング展
ペンキを使ったドローイング作品を中心に展示。色調はモノクロなのに、非常に垢抜けた印象。縦3m横1.5m大の巨大な絵画が、会場一面を大胆に埋め尽くす。しかし、最終的に心に残る印象はその豪快さよりはむしろ逆の感覚。一繊細さや優しさであった。描かれているのは主に人物像なのだが、非常に「中性」を意識している気がする。男性的な女性、女性的な男性。
音楽家でもある彼の音楽から感じられる印象とも一致するのは決して偶然ではないであろう。

■05/03/09～05/03/29 津田修個展 『外へ外へと出す』
平面から立体、大きいものから小さいものまで、多様な制作を続ける津田修の初個展。小学校4年の時の作品から最近の作品までが会場とこころ構わず、ランダムに展示された様子は、おもちゃ箱をひっくり返したようで楽しい。私が一番気に入った作品を指さすと、その作品は最新作のものらしい。他の多くの作品が、色彩や図形を複雑に組み合わせ構成されているののに対し、その作品は、赤と緑の二色の四角形だけで構成されている非常にシンプルな作品だった。「最近是这样いった方向で描いていて」と言っていた津田氏の、今後の作品もまた楽しみだ。
※今後の予定はスケジュール欄参照

お料理好き
お掃除好き
笑顔が好き
時間曜日応相談

スタコ
グルーム
カフエ



於集電腦女流詩人
交流向上百花繚乱
詩的空間月毎更新
随時求新同胞以愛

蘭

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/
ウェブ女流詩人の集いの会
アンソロジー

¥1575(税込み)
発行: 詩学社
装丁: RADIO DAYS
コルムでも好評販売中

Web 女流詩人の蘭の会

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/

「The Lighthouse Tapes vol.3」2003/8/9 台風(後半)

|さんと井野さんが会話している。上田が会話を書き留めていく、やがてOさんがやってくる。彼女はマイペースな「いいおばちゃん」。長年連れ添った伴侶を亡くした後、視覚障害を持つにいたった。Oさんのザラザラした声が体育室に響く「2階におったらゆるるもんねえ」。|さんの声も響く「ひやひやしなながら扉をうちつける」。トントン「トントン」トントン「みんなが応じた。ギターを手にしたわたしの指が遊んでいる。なんと言ったよいか、自由なのだ。どんなフレーズを弾いたとしても漂う空気感と調和できた。なんの制限もなかった。わたしの指使いはどんどん遅くなっていき、それはフレーズですらなくなっていく。弦の響きが体育室の響きの一部になっていく。やがてわたしは自分を意識しなくなる。車椅子のTさんがやってきて、輪の中に入る。どんなタイミングで入ってきたのか、残されたDATテープからは判断がつかない。「修学旅行のかえりぐらに台風つれて帰ってきたから」みんなのことが集まった。井野さんが読み終わった時、ハミングが自然発生する。そこに居る誰もが待っている。上田のやさしく繊細な声が響く、ゆっくりと、ゆっくりと、幼子に話しかけるように、語りかける。ことばを形作っていく。そして詩が生まれた。ナビゲートは必要なかった。繊細に響き合っていた。それはわたしがかつて聴いたこともないハーモニーだった。

「丸太が流れてきて」「アイスキャンディーを入れる容器が流れてきたり」
 「宿題もいっばいで」「むつかしいことも台風で」
 「でも被害が少ないのは」
 「ぼた山のおかげ」「ぼた山のあるおかげ」
 ハミングが空へ上がっていく。自然に音程が変化して、ハーモニーが広がっていく。
 「台風が吹くよ」「わたしの家も庭まで」「水につかって」
 「洗面器を置いて」「ふとんの中でねむった」
 「安全な盲学校の保護室でねむった」
 響きは自然のように、そこに存在した。
 「台風目の中に入れれば」「晴になる」
 この時期のワークショップでは、この日がひとつの頂点だったように思う。ワークショップ後の天気はどうだったのかとか、もう記憶もさだかではない。DATテープが残されているのは、とても幸運だったと思う。この残された音源を誰かに聴いてほしい、そんな気持ちになるのだ。

※この日の音源にご興味のある方は、ezman@nifty.comまでご一報ください。

詩人の恋人5

桑原滝弥

畜生。どうしたってことだ。ピクリとも動きやしない。何たる様だ、我が心のジュニア。ブルーオスおまえもか。神様、おれと、おれのサムに光をお与えください。眼前に特大カジキマグロめが我々のビッグマグナムな一突きを待ってるんでござえます。あの大ティマジオ先生だってその昔は漁師だったんだ。お熱いのは大好きさ。こんな所で負けてたまきゃ。隣の彼方には功夫映画時代のジャッキー・チェンの勇姿が浮かぶ。笑いながら戦っている。「クレイジモンキー笑斧」のクライマックス場面だ。よし、これだ。これで行こっ。キメ。「ニャハハハ」。おれは、すわ親治よろしく甲高い声で笑い狂う作戦に出た。でっきるかな？とところがどうだ、ベッドの上の鉄の瓜はこちらに一瞥もくれないでショートホープをブーカブカ。ガッテーム。おれはフッカーだぞ。シュートでキュートで石守院歌。その上でもってエンターティナーだど。気が付けば汗だけが流れていた。そして寒かった。時間はとっくの昔に停止をしている。耳の奥ではとんねるずの「一気！」のサビの部分だけがエンドレスに繰り返されていて気持ち悪い。視点の定まらぬ霞の向こう側に枯渇した肉塊が寝そべっている。いやがる。ぼくはこの荒涼とした砂漠の上にたくさん種を蒔いて、色とりどりの花を咲かせてたいよ。助けて阿部定。自由になりたくないかい。自由で一体なんだい忠犬ハチ公。もうダメなのかな。もう終わりのかな。もう終わりのかな。もう一回だけでいいから、きみと未来の話をして見たいよ。言葉なんてめんどくさいものはなくなっただけいいから。ねえ。にやんにやん。もっと生きるよクソガキ。カカッテコイヨおじいさん。いまこそがんばれ、おれ。いや、がんばらないということをがんばった方がいいのかいなあ。ちょっと。またジャッキーが出てきた。今度は笑いながら…漏場を演じている！スグッ。あ、チンコ勃ってきた。やりっ。

こんな紆余曲折を経て、今夜も詩人はステージに立つのでした。



第14回
儲けはあとからついてくる
 ■片岡勝著
 ■日本経済新聞社
 ■¥1400+税
 ■自分の仕事をつくりたいあなたへ:
 ☆☆☆☆

問題解決ビジネスということばを聞くようになったのはいつ頃からだろうか。資本主義の跋扈に疑問を感じはじめたのはいつだろう。大量生産、大量消費に、何か変、と思うようになり、政治も行政も企業もメディアもそのやり方で本当にいいの？環境問題、少子高齢化、雇用、年金、ニートにひきこもりなどとてつもない問題に不安のない人などいるのかしら。目的もないのに追いかけられた風みたいに利潤をあげる仕事なんておもしろいよね。著者いわく、働いたら働いたぶんだけ人から感謝されるようなコミュニケーションビジネスが、この先行きの不安な時代の新しい働き方を提案している。困っている人にビジネスとして関わる。そしたら、儲けは後からついてくる。

見栄をはる生活をするために稼ぐのではなく、利益の余剰をつかって、つぎの問題解決に投資し、「事」を起こし、社会にシェアしていく。「創造性」「挑戦」「楽しい仲間」それがキーワードだ。

育て方によって花の色が変わります

久加裕子

頭の上が何やらにぎやかな。見上げると、木の枝でピンク色した女の子たちがおしゃべりしている。春。花びらのスカートが可愛いね。道の脇に緑の固まりが動いている。よく見るとモリゾーとキッコロ。愛地球博が開幕して、モーニング喫茶での話題も万博でにぎわう。

街では、何やら慌ただしい。リクルートスーツの若者が、黒いかかとを鳴らして、新しい筋肉を緊張させている。入学、入社がこの時期なのは、育つ・育てるに最適な季節だからだろうか。暖かくなってくる虫が動き出し、雨が適度に降って、風もふく。そして土は肥える。自然はそれぞれの役割と働きを行なっている。そのバランスがとれて、草・花・木・動物は育つ。

社会で人を育てるのは、何やら難しい。私は今まで育てられる側になることが多くて、新人さんを教えていく経験はまだ少ない。人の数だけ育て方があるって、1から10まできっちり教える人もいれば、6まで教えてあとの残りは考えさせるという人もいる。此で育てる、蓄めて育てる、さまざまである。しかし一方的にその方法でしか育てようとする人には、それで育つ人しか残らない。私自身たくさんの指導者に出会ってきたけれど、私の性格・性質をよく知り、それに合った指導をしてくれる人の下では、私はのびのびと育つことができた。でも会社の決まりだとか、指導者として譲れないものもあるだろう。結局、仕事や人にどれだけ愛情をそそげるかが大事になってくると思う。私はまだ、中間の立場である。育てられもするし、時に育てることもする。私の教え方が間違っていれば、それを指導してくれる人もいる。たくさんコミュニケーションが花を咲かせる。人を育てるなんていっちゃまえに言ってるけど、そこからまた自分も育っていく。今の私は、緑の茎がしっかりした、黄色い花。元気に咲いている。これから芽を出す人や花を咲かせる人は、力の入った筋肉をたまにはほくしてみてね。そしてランチタイムには、おいしいエネルギーをほおぼって！

浪速自転車通信第1回 「ええもんはええ」

辻本恵美

祝！なんとなんと。先日、初めて自転車のご注文を承りました。どないしょー。作れる！しかも浪速自転車に自転車を頼んでくれる方がいることがうれしい！そうなのです、浪速自転車は自転車をつくらうとしているんです。しかも、むちゃカッコエエ。運搬車ってご存知ですか。商店街や市場やらの、米屋の酒屋の氷屋のアノ自転車です。荷物運びに使われる「はたらく自転車」で、10年や20年はかるく乗れる。なかには50年近く乗り続けられているモンもあって、「シートが豚皮やから、雨に濡れても大丈夫やでえ。ぶはは。」ゆうて、ポコポコのバリバリのイスを自慢するおっちゃんや、「やっぱりメーカーもん(ウエルビーの自転車)はエエで。この前に三台乗ってつづれたけど、これはタイヤは2回変たけど、ずーっと乗ってるわ。」ちゅうて、ほんまに50年近く一台の自転車を使い続けているおっちゃん。そんな人らの話を聞くと、やっぱり「ええもんはええ。」ちゅうのをものすごく感じます。そして、この自転車のある店やら町がこれまたエエなんです。「そら新しいもんもエエけどな、ええもんはええやで。」ちゅう空気してるんです。

一万円以下で自転車が手に入る。いま、何回も部品交換して乗るくらいなら買い換えたいほうが確実に安い。せやけど。エコロジーがどうのこうの歴史の価値がどうのこうの、そういうのもあるけれど、50年乗れるアノ自転車と50年自転車に乗ってきた人たちが、ただただかっこエエと思うのです。浪速自転車は今から50年乗ってもつぶれない、そして50年乗ってやろうと思える自転車をつくらうとしているのです。

ブログ: 浪速自転車の日々びびび <http://blog.goo.ne.jp/naniwacycle/>
 連絡先: naniwa-jitensya@hotmail.co.jp

詠唱日本国憲法

全国CDショップにて好評発売中
 注文番号ZE00-001
 ¥2100 Inf. ココルーム

P.P.P.C.B.N. cocoroom booking night

ブッキングマネージャー募集!!

出来る事から動かしてゆく
 動かしながら考える
 アートマネジメントの第一歩へ
 ※cocoroom@kanayo-net.comまで

P.P.P.P.C.B.N.

ゴールデンウィークスペシャル企画
題して...『"世界"と"新世界"博』

4/28~5/8までの怒濤の11日間です
さらに出演者も増加中!是非お越し下さい
出演希望などの全ての問い合わせは
cocoroom@kanayo-net.com

※特記のあるもの以外は19:00start 1500円+1drink

◆4/28(木)

「"世界"と"新世界"の交通博1」
つるさきみどり / Blue Innocence / 飯島秀司 / 面黒楼記(仮)

◆4/29(祝)

P.P.P.P.C.B.N. 「"世界"と"新世界"博」
reading THE BIG ISSUE 第3弾 スリランカからの手紙
18:00start 2200円
(THE BIG ISSUE最新号と1ドリンクつき)
※詳細は表紙参照

◆4/30(土)

WENプロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
18:30 start 1500円+1drink
杉山拓 / chienerrant / 他

◆5/1(日)

コマイナースプロデュースによるP.P.P.P.C.B.N. 「狛犬ナイト」
18:00 start 1500円+1drink
奥田晃一 / 合田清 / KUROKO∞SHOW / コマイナース

◆5/2(月)

「世界と新世界の交通博2」
もぐらが一周するまで / Ricotta / 本上百貨店 / 他

◆5/3(祝)

「名前はまだなる」プロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
14:00と18:00の2回公演 1500円+1drink
シゼンカイノオキテ / TOSHI / 名前はまだなる / 他

◆5/4(祝)

はしもとかよプロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
「"世界"と"新世界"のおもちゃ博」
WIPES / 無節奏 / 山海ひでひろ / 他

◆5/5(祝)

岸昆虫プロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
cocoroom booking night
Asha and dd.punch / ウラナチ / かのうとおっさん / 他

◆5/6(金)

赤松ミサキプロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
「akamar22!企画」
cocoroom booking night
kei / 大和川レコード / akamar22!

◆5/7(土)

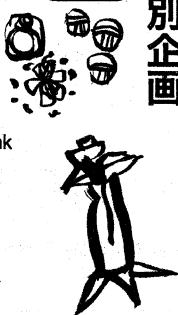
P.P.P.P.C.B.N. ひでまるさんの日
18:00start 前売2000円+1drink 当日2300円+1drink
T W I N S / 歌屋BOOTEE / 良元優作 / 他

◆5/8(日)

ウクレレ前田プロデュースによるP.P.P.P.C.B.N.
「溢れ出すエンデルフィン」
18:00start 前売1800円+1drink 当日2000円+1drink
小林万理子 / 関西のこぎりオーケストラ / 他

『"世界"と"新世界"博』

P.P.P.P.C.B.N. cocoroom booking night ゴールデンウィーク特別企画



SCHEDULE (cocoroomから飛び出す事業) 4/21~6/24

詩の学校(應典院校 / 京都芸術センター校)

INF:cocoroom

上田 假奈代の

詩の学校

第7期	1/12	/	2/6
詩の	2/9	/	2/23
学校	3/9	/	2/23
	4/13	/	2/27
	5/11	/	2/25
	6/8	/	2/22
	7/13	/	2/27
	8/10	/	2/24
	9/14	/	2/28

胸に染みる現代詩の鑑賞、詩作、朗読までたっぷりと
ゆたかな詩の時間をすごしてみませんか
自由なワークショップ形式だから
はじめての方でも気軽に参加いただけます
大人はなにかといそがしいものね
1回完結 遅刻早退可です

京都芸術センター校

4/28	5/26
6/23	7/28
8/23	9/29
10/27	11/24
12/22	1/26
2/23	3/23

すべて水曜

19:30~21:30 単発受講可

受講料:1000円(筆記用具、ノート持参)
講師:上田假奈代
主催:NPO法人COCOROOM
共催:應典院

●應典院 www.outenin.com

大阪市天王寺区下寺町1-1-27 tel.06-6771-7641
■近鉄奈良線・地下鉄 堺筋線/千日前線「日本橋」駅下車
8番出口から東南方向・国立文楽劇場方面へ徒歩5分
地下鉄 谷町線/千日前線「谷町九丁目」駅下車
3番出口から西南方向・国立文楽劇場方面へ徒歩6分

すべて木曜

19:00~21:30 単発受講可

受講料:1000円(筆記用具、ノート持参)
講師:上田假奈代
主催:NPO法人COCOROOM
共催:京都芸術センター

●京都芸術センターhttp://www.kac.or.jp
ミーティングルーム2 (南館3F)
京都市中京区室町通錦業師下る山伏山町546-2
tel.075-213-1000
■阪急電車烏丸駅・地下鉄烏丸線四条駅
22・24出口から徒歩5分

上田假奈代 live information

■「早川義夫 LIVE DVD発売記念「あの子にワンワンワン ~slow music~」

4/23(土) 18:30start 前売:2800円 当日:3300円 会場:京都メトロ
出演:早川義夫 / 長谷川健一 / 上田假奈代 + ryotaro from elements

大和川レコード live information

■大和川レコード個展「風景を切り裂くまにまに」(パフォーマンス展)

4/21(木) 1部:19:00-20:30 2部:21:00-22:30 料金:1500円 会場:OZC kalavinca

■「新世界の金曜日vol.3」

4/29(祝) 19:00start 料金:1500円(1d別) 会場:BRIDGE
出演:KLIPP AV / Yuko Nexus6 / 梅田哲也 / 分別Funbetsu(豊田奈千南[BABY-Q]+西川文章) / 大和川レコード
(info)xbun_sho3@hotmail.com http://gule.pupui.jp

■大木裕之 映像個展「ナ!ム、メイ、チュウ!」

5/5(祝)~5/7(土) 19:00start 料金:1000円 会場:remo
※5/5にワークショップ開催→ワークショップ講師:大木裕之
ゲスト:otosora(ライブパフォーマンス・映像) / 大和川レコード(ライブインストール)
(info)ikura_pro@yahoo.co.jp http://sound.jp/ikura_pro/

-----大和川レコード CD作品「選び採取られた日常」勝手にレコ発期間6月篇-----

■「instinct vol.4」

6/2(木) 18:30start 前売:1500円 当日:2000円(1d付き) 会場:伽奈泥庵
出演:slowcalm / motohiro nakashima / 大和川レコード / +.
(info)music_on_my_mind@hotmail.com

■大和川レコード レコ発 in 名古屋

6/9(木) 時間料金詳細未定 会場:canolfan

■「イメージフォーラム ヤングパースペクティブ2005」

※6/10(金)と6/12(日)の2日(時間詳細未定)、東京のイメージフォーラム内上映施設"シネマテーク"にてゲストパフォーマンス
(info)sawa@imageforum.co.jp

■大和川レコード レコ発 in 東京

6/11(土) 時間詳細未定 1000円(1d別) 会場:高円寺無力善善寺
出演:スッパマイクロパンチョップ / ばきりノす / 大和川レコード / @だち麗三郎 / 他

声とことばのワークショップ

INF:cocoroom

4/22、5/13、5/27、6/10、6/24 ※全て金曜日 13:30start 参加費無料

ナビゲーター:飯島秀司(音楽家)
会場:視覚障害者施設日本ライトハウスジョイフルセンター内2階チャッピールーム
〒538-0042大阪市鶴見区今津中2丁目4番37号 tel:06-6961-5521
アクセス:JR学研都市線放出駅下車徒歩15分
当日のお問い合わせ:090-6737-4523(飯島)

today's

14/365

桜がきれい。子どもがかわいい。猫がかわいい。

探取日時:2005年4月7日(木)1328 探取場所:大阪港区築港 探取者:齊藤知

桜がきれいなのは前から知っていたけど、毎年ごとにその、価値観とか、感受性っていうのはほんとに日々めまぐるしく変化していて、最近では子供や猫が無性にかわいく思えて仕方がない。少し前までは苦手だったものたち。私にやさしい気持ちを起こさせてくれるこの子たち。大人になるのも悪くないかも。

もーれちゅ!マウス絵道場

~詩のオーケストラサイト共同企画

「桜発情する猫の名は玉魚」 絵:のぞ コメント:かなよ

イラストレータの上にも春はやってくる。

足がかりがあれば、どこまでも昇りつめ

解像度の奥まで爪をたて、つぎの季節へ飛ぶ。(か)



P.P.P.C.B.N ~cocoroom bocking night~ 19:00 ¥1500+1d

※特記のあるもの以外は上記の時間料金です

- 4/24(日) 脳までへたれ隊 / ふなまん / 森内さとか / 岸田典大 / 武田こうじ
4/28(木) 『世界』と『新世界』の交通博1』〜とてつもなくピアノな夜〜
つるさきみどり / Blue Innocence / 飯島秀司 / 面黒楼机(仮)
4/29(祝) reading THE BIG ISSUE 第3弾 スリランカからの手紙
※詳細は右欄内参照
4/30(土) WENプロデュースによるP.P.P.C.B.N. 18:30 1500円+1d
杉山拓 / chienerrant / 他
5/1(日) コマイナーズによるP.P.P.C.B.N.『狛犬ナイト』 18:00 1500円+1d
奥田晃一 / 合田清 / KUROKO∞SHOW / コマイナーズ
5/2(月) 通常のブックイングマネージャープロデュース『世界』と『新世界』の交通博2』
もぐらが一周するまで / Ricotta / 本上百貨店 / 堀ゆうじ / フクイタカハル
5/3(祝) 『名前はまだなん』プロデュースによるP.P.P.C.B.N.
14:00と18:00の2回公演 1500円+1d
シゼンカイノオキテ / TOSHI / 名前はまだなん / 他
5/4(祝) はしもとかよプロデュース
『世界』と『新世界』のおもちゃ博』
WIPES / guitar noiz orchestra
無節奏 / 山海ひでひろ / 他
5/5(祝) 岸昆虫プロデュース
Asha and dd.punch / かのうとおっさん / asiunLtd / ウラナチ
5/6(金) 赤松ミサキプロデュース 『akamar22』企画
kei / 大和川レコード / akamar22!
5/7(土) 奥村ひでまるプロデュース『ひでまるさんの日』
18:00 前売2000円+1d 当日2300円+1d
T W I N S / 歌屋BOOTEE / 良元優作 / 田淵徹 / 黒田徹 / シーラグ
5/8(日) ウクレレ前田プロデュース 『溢れ出すぎるエンドルフィン』
18:00 前売1800円+1d 当日2000円+1d
小林万理子 / 関西のこぎりオーケストラ / びびんげ / NAOYUKI / 他
5/27(金) TASKE / 森内さとか / 他出演者募集中!!
6/4(土) 丹野賢一+NUMBERING MACHINE+石川雷太『026-METAL』上映会 時間料金未定
出演者募集中!!
6/7(火) ヒデオヴィッチ上杉プロデュース 時間未定 1500円+1d
井上卓 / あうんさん・すうじ / ジェロニモレーベル / ファルソスヒターノス / 他
出演者募集中!!
6/24(金)

P.P.P.C.B.N.にオープンマイク 『実験精神』
5/27,6/24
持ち時間5分 (セッティング2分以内)を3組募集
PPPPCBN3回観し券で 3,000円 ※5/7,5/8は使えません

- 6/25(土) 福島泰樹短歌絶叫コンサート
19:00 2500円+1d
出演: 福島泰樹(短歌絶叫) / 島田篤(ピアノ)
岸田コーイチ(パーカッション) / 柴田奈穂(ヴァイオリン)
6/26(日) トークライブ:『人生にYesNo!』〜摂食障害・ひきこもり・ニートの人間関係〜
16:00~19:00 1500円(1d付き)
出演: ひかる(アーティスト) / 齋藤直子(奈良女子大学大学院) / 西岡知香 (PSW) / 上山和樹
樋口明彦(大阪大学大学院) / 岸政彦(関西大学非常勤講師)
主催: 大阪かなりあしよっぶ(摂食障害自助グループ) ranzan617@ybb.ne.jp

キモノの美しい映画シリーズ 15:00 ¥2000 ¥2300 (1ドリンク付き)

- 5/15(日) 『お楽しみに』
6/19(日) 『御詠子治郎吉格子』
※両日とも富岡邦彦映画プロデューサー、上田假奈代(詩人)の対談あり

上田假奈代の日常きもの指南 19:00-21:00 ¥1500

- 5/12(木)、5/23(月)、6/9(木)、6/29(水)
要予約: ココルームまで(先着5名)
自分で着られる かんたんきつけ

上田假奈代のほえ茶会 20:00 ¥500+1d

- 4/21(木) vol.27 生きる仕事シリーズ『〜関西で演出家という仕事は成り立つのか〜演出家独白』 水沼健氏と語る
5/19(木) vol.28 生きる仕事シリーズ『社会と仕事と自立と表現』 餘吾康雄氏と語る
6/15(水) vol.29 『印税生活は夢のまた夢?』 語り手: 恵

COCOROOM 月曜日企画

BOOKS ARCHIVES 20:00 入場無料(要ドリンクチケット)

声が明日のページをめくってゆく / 朗読: 上田假奈代、ウォン・ジクスー
上田 5/16(月)第52夜 6/13(月)第55夜 上田/ウォン 4/25(月)第51夜 6/27(月)第57夜
ウォン 5/23(月)第53夜 6/20(月)第56夜

Creation Goes On 19:30 出品者/見学者ともに ¥500+1d

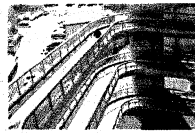
毎月一週目の月曜日に開催される、現代美術をはじめとするあらゆる作品
表現行為の自由参加型プレゼンテーション企画
5/9(月) 第二回 6/6(月) 第三回
※出品者は18:30-19:00申し込み受付 担当: 阿佐田 wataru@kanayo-net.com

文学トコトコ 20:00 1ドリンクオーダー

- 4/22(金) 『黒沢清"回路"とハイデガー』 語り部: 原口くん
4/26(火) 『地図の快楽』 語り部: 泉谷洋平
4/27(水) 『浴衣でいこう愛知万博!』 語り部: ソラサンと暁青
5/17(火) 『金友トコトコ』業務用自転車改造計画について語るvol.5 / 浪速自転車
5/18(水) 『愛知万博を楽しむには?』 語り部: ソラサンと暁青
5/24(火) 『アートとマネジメントのための確定申告トコトコ』 語り部: 飯島秀司
6/14(火) 『ローラニーロとゲットーミュージック』 語り部: 飯島秀司
6/22(水) カール・セーガン『科学と悪霊を語る』 語り部: 飯島秀司

Chimes~prick up your ears~ 12:00~22:00 入場無料

- 5/9(月)~5/29(日) vol.16 Noet(直江竜也) 写真展
音楽家とのコラボレーションなど幅広く活動するNoetの個展
6/3(金)~6/16(木) vol.17 ヒデオヴィッチ上杉の"偽"写真展
中国、中央アジア、パレスチナ、旧ユーゴ、スペインetcをぶらついた
旅記録からの写真を展示。6/12(日)にはココルームで音楽イベントも!
6/18(土)~7/1(金) vol.18 ひかるのアトリエ〜摂食障害とアート〜 Noetの作品より
摂食障害という「一部」を持ち合わせたひかるさんによる個展
※出展者募集中。詳しくは wataru@kanayo-net.com(キュレーション担当: 阿佐田)まで



Noetの作品より

(編集後記) 簿記の学校に通うことにした。計算機で足し算しても毎回答えが違うわただけれど、舌を噛みそうな貸借対照表とか総勘定元帳とかとも仲良くなれるかな。春やね。(か)

reading THE BIG ISSUE 第3弾
大阪紙の芝居劇場
『スリランカからの手紙』
4月29日(金・祝) 18:00
¥2200 1ドリンクとビッグイシューつき
出演: かまなびこえん紙芝居、佐藤星、
ウランジクスー、上田假奈代
会場・お問い合わせ: ココルーム
主催: 大阪紙の芝居劇場実行委員会

※1d表記のものは500円ドリンクチケットです。 ※すべての開場は30分前です。

Cocoroomでは、寄付をつっています。
運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を
『ぼえ犬通信』に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティエイリカツウホウジコエトコトコ/ココロ/ハヤ
郵便振替 記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ

宮前のおんさま、難波さまよりお心添え頂きました。



特定非営利活動法人えとことばとこころの部屋



zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/

- ※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
※阪堺軌道「南霞町駅」下車 徒歩すぐ
※駐車場(有料)

cocoroomをご活用ください

あなたの活動がもっとスムーズに、そして継続できるよう協力
体制でのぞみます。企画書をもってお話にきてください。
使用管理料: ¥50000/1日 お気軽にご相談ください。
お得な『co屋』バックもご利用ください。

スタッフ求む!! (びよんびよん通貨)

びよんびよんスタッフ(ボランティア)から、有償スタッフまで。
現場感あふれるココルームと一緒に活動してみませんか。
10びよんびよん稼いで頂いたスタッフには、1PPPP(cocoroom主
催イベント、PPPPCBNの一回フリーパス券)を進呈。